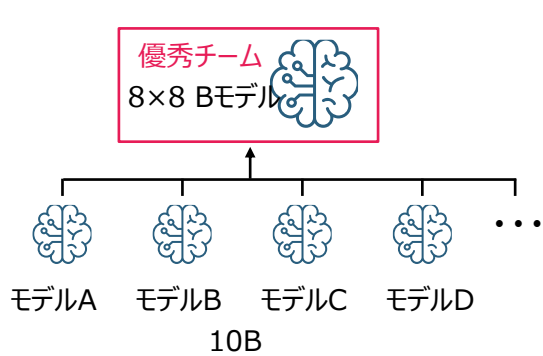


多様な日本語能力の向上を目指した公開型の基盤モデル開発・事業成果概要

実施者 国立大学法人東京大学

事業概要 日本におけるLLM開発と応用を目的として、日本語を強化した10B、ならびに8×8BサイズのLLMを開発し、開発で得られた成果物(ソースコード・モデル・開発ノウハウ)を公開します。



東京大学松尾・岩澤研究室の大規模言語モデル（LLM）講義の修了生700名のうち、200名程度を7チームに組織し、コンペティション形式で、10BサイズのLLMの開発を行います。さらに、最優秀のチームが8×8BサイズのLLMの開発をします。

社会実装イメージ

ソースコード

モデル
8つ全てのモデル

開発ノウハウ

学習したモデルはもとより、学習用のコード、データセット、開発の過程も全て公開し、公開度を究極に高めることで、日本全体の技術レベル向上を目指す。スタートアップの育成等を通じて社会実装します。

※本資料に掲載する製品名等は、各社の商標または登録商標です。

事業成果

8×8BモデルにてJGLUE76点というGPT3.5-turboを上回る性能を達成しました。また、直近の評価指標(Nejumi Leaderboard Ver2やVer3など)でも既存モデルに匹敵する高性能を達成しました。

JGLUE 結果

本モデル	他モデルとの比較
76.0	- GPT-4: 89.8 - LLM-jp-13B: 83.0 - GPT-3.5 turbo: 74.8

Nejumi LLM リーダーボード 3

本モデル	他モデルとの比較
0.57	- GPT-4: 0.79 - GPT-3.5 turbo: 0.58

Japanese MT-Bench

本モデル	他モデルとの比較
6.8-7.0	- GPT-4: 8.6 - calm3-22b-chat: 6.9 - GPT-3.5 turbo: 6.8 - Llama-3-Swallow-70B-Instruct-v0.1: 6.2 - Llama-3-ELYZA-JP-8B: 6.1 - karakuri-lm-8x7b-instruct-v0.1: 5.9

社会実装についても、モデル公開コード公開を始め、テックブログやノウハウ動画等の公開を通し、開発過程をオープンに社会に還元しています。こういった発信は、メディアにも関心を寄せていただき、取材や記事でも取り上げていただきました。今後も、LLM開発の知見をコミュニティ内で共有・蓄積し、社会に発信してまいります。



出典: テレ東BizYoutubeチャンネル「国産AI開発の最前線 GENIACプロジェクトとは」